

医京

No.2259

令和5年12月15日

報都 12.15

毎月2回（1日・15日）発行 購読料・年6,000円

2023
December

KYOTO

「府民の生命と健康を守るための総決起大会」を開催

目次

- 2 京都府医療推進協議会
「府民の生命と健康を守るための総決起大会」を開催

 - 4 医療事故調査制度『相談窓口』のお知らせ

 - 5 委員会だより

 - 7 学術講演会における「確認問題」

 - 10 地区庶務担当理事連絡協議会

 - 13 京都医学史研究会 医学史コーナー

 - 14 会員の声

 - 16 おしらせ
 - ・ 京都府医師会学校医研修会のご案内

 - ・ 第72回近畿医師会連合学校医研究協議会総会

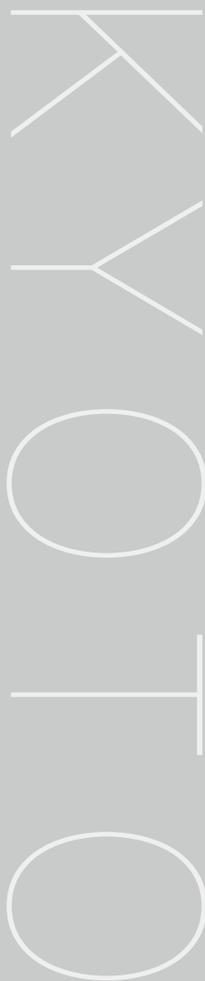
 - ・ 京都府医師会主催
「第19回指導医のための教育ワークショップ」参加者募集

 - ・ 日本医師会セキュリティガイドライン相談窓口について

 - ・ 日医かかりつけ医機能研修制度 修了申請について

 - 25 会員消息

 - 26 理事会だより
-



付 録

■ 保険だより

- 1 生活保護の医療扶助におけるオンライン資格確認について
- 2 レセプトをオンライン請求していない医療機関における医療情報・システム基盤整備体制充実加算の特例について（注意喚起）
- 2 新型コロナウイルス検査等に係るQ&Aについて
- 3 検査料の点数の取り扱いについて 11月1日から
- 4 GLP-1受容体作動薬の在庫逼迫にともなう再度の協力依頼について

■ 地域医療部通信

- 1 令和6年度以降の新型コロナワクチンの接種について
- 3 日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会開催のご案内
- 5 令和6年度 産業医学基本講座受講案内

■ 京都市（乙訓2市1町）病院群輪番編成表

■ 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター通信

- 1 第1回「京都在宅医療塾 探究編」オンデマンド配信のご案内

■ 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター 認知症対策通信

- 1 認知症対応力向上多職種協働研修会（右京）開催のご案内
- 4 認知症対応力向上多職種協働研修会（綴喜）開催のご案内

■ 介護保険ニュース

- 1 「デフレ完全脱却のための総合経済対策」および令和5年度補正予算案の決定について

京都府医療推進協議会

「府民の生命と健康を守るための総決起大会」を開催

医療・介護・福祉分野の人材確保に向けた 賃上げ等に必要な財源の確保を求める

府医をはじめ医療・介護・福祉に関連する団体、患者団体等 32 団体で構成する京都府医療推進協議会（会長：松井府医会長）は、11 月 19 日（日）、谷口府医副会長の司会のもと「府民の生命と健康を守るための総決起大会」を府医会館で開催し、医療・介護分野における物価高騰と賃上げ、技術革新に対応するための適切な財源の確保を強く求める決議を採択した。



当日は、京都選出の国会議員や京都府議会議員、京都市議会議員をはじめ関係者約 150 人が参加し、トリプル改定に向けて医療界が一致団結した。



松井 府医会長

冒頭、松井府医会長は、公定価格で運営する医療機関等は物価高騰に対応するための手当てを価格に転嫁することができず、非常に厳しい状況であるにもかかわらず、財務省が来年の診療報酬改定で大幅なマイナス改定を主張していることに言及し、医療・介護・福祉分野の人材確保に向けた賃上げ等に対応するための必要な財源の確保を強く訴えた。

また、来賓として登壇した自民党の勝目康衆議院議員、田中英之衆議院議員、吉井章参議院議員らも本決起大会の趣旨に賛同する旨の挨拶があった。

さらに、自民党京都府支部連合会会長の西田昌司参議院議員は「税は財源ではない」と題した講演の中で、人材確保に向けて診療報酬・介護報酬への財源の投入が必要と強く主張した。

その後、濱島府医副会長から決議の趣旨説明があり、本大会に先立って京都府医療推進協議会の構成団体で承認を得た決議（次ページ参照）を禹府医副会長が読み上げた。

最後に、鈴木京都府歯科医師会副会長の発声による参加者全員の頑張ろうコールで会が締められた。

最後に、鈴木京都府歯科医師会副会長の発声による参加者全員の頑張ろうコールで会が締められた。

最後に、鈴木京都府歯科医師会副会長の発声による参加者全員の頑張ろうコールで会が締められた。

最後に、鈴木京都府歯科医師会副会長の発声による参加者全員の頑張ろうコールで会が締められた。

最後に、鈴木京都府歯科医師会副会長の発声による参加者全員の頑張ろうコールで会が締められた。

決 議

長らく続く物価高騰には、一時的ではなく、恒常的な対応が必要である。また、支え手が減少する中での人材確保が不可欠であり、政府からも持続的な賃上げが呼び掛けられている。

しかしながら、公定価格により運営する医科歯科医療機関、薬局、介護施設等は、その上昇分を価格に転嫁することができない。物価高騰と賃上げ、さらには日進月歩する技術革新への対応には十分な原資が必要である。

国民の生命と健康を守るため、医療・介護分野における物価高騰・賃金上昇に対する取組を進め、国民に不可欠、かつ日進月歩している医療・介護を提供しなければならない。

よって、適切な財源を確保するよう、本協議会の総意として、強く要望する。

以上、決議する。

令和5年11月19日

京都府医療推進協議会

● 京都府医師会・会員メーリングリストにご登録ください ●

府医では、会員の先生方の迅速な意見交換、情報交換の場として「府医・会員メーリングリスト」を運用しております。

GmailとPCアドレスなどを複数ご登録いただくことも可能です。すでにご登録いただいている会員の先生方も、スマホやタブレットなどでご確認いただくために、登録アドレスを見直しませんか。下記登録方法にてお申し込みください。

『京都府医師会・会員メーリングリスト利用規約』

<https://www.kyoto.med.or.jp/doctor/ml-kiyaku.pdf>

『京都府医師会・会員メーリングリスト運用ガイドライン』

<https://www.kyoto.med.or.jp/doctor/ml-unyougaido.pdf>

登録方法 以下の申込先フォーム URL よりご登録をお願いいたします。
アドレスは2つまでご登録いただけます。

(パソコン) <https://ssl.formman.com/form/pc/JpJfpmjNSAt4OKE3/>

(携 帯) <https://ssl.formman.com/form/i/JpJfpmjNSAt4OKE3/>



上記の方法によりご登録できない場合は、FAX でのお申し込みを受け付けます。

必要事項(①地区医師会名 ②医療機関名 ③氏名 ④メールアドレス)をご記入の上、総務課(FAX:075-354-6074)まで送信してください。

※お申し込みいただいた会員の先生方には、府医事務局においてアドレスを登録します。

医療事故調査制度『相談窓口』のお知らせ

各医療機関におかれましては、万が一、対象となる死亡事案が発生した際には、適切な対応をお願いするとともに、京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会（窓口：府医）にご相談ください。

医療事故調査・支援センター（一社）日本医療安全調査機構

- 医療事故 相談専用ダイヤル 03-3434-1110
- 対応時間 午前7時～午後11時
- URL <http://www.medsafe.or.jp/>

京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会（一社）京都府医師会 医療安全課

- 専用電話 075-354-6355
- 対応日時 午前9時30分～午後5時30分
（※休日・夜間については、医療事故調査・支援センターで対応）
- メールアドレス jikocho@kyoto.med.or.jp
- URL <https://www.kyoto.med.or.jp/ma/>
- 相談内容 ①制度概要に関する相談
②事故判断への相談
③院内事故調査への技術的支援
(1)外部委員の派遣 (2)報告書作成支援 (3)解剖・Ai 実施支援

京都府医師会医療事故調査支援団体連絡協議会 動画配信のご案内

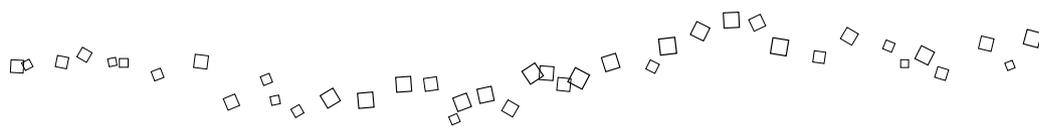
協議会のWEBサイトにて、以下の動画を配信しています。

医療事故調査制度における疑問にお答えする形で、これまでに寄せられた質問を中心に、京都府医師会：松村由美理事が疑問にお答えします。是非、ご覧ください。



■ 内 容

1. 対象事案かどうかの判断について
 - (1) 医療事故調査制度が検討されたきっかけ
 - (2) “予期しない患者死亡事案”への2つの対応
 - (3) 米国 ベン・コルブ君(7歳)死亡事例(1995年)
2. 事故発生時に対処しなければならない内容は
3. センターへの報告はどうすればよいか
4. センター報告後の自院での動きは
 - (1) 調査報告書（案）前半部分を準備する
5. 院内事故調査委員会の運営について
6. 調査報告書の作成について
7. ご遺族への調査結果説明について
8. その他
9. 他の医療機関はどうやって取組んでいるのだろうか？



産業保健委員会

○辰巳 仁子 (中京西部) ◎古木 勝也 (福知山) 長谷川暢子 (京都工場保健会)
松田 雅子 (京都産業保健総合支援センター) 今川かおる (オムロンエキスパートリンク)
(敬称略, 順不同, ◎=委員長, ○=副委員長)

オブザーバー 梶木 繁之 (産業保健コンサルティングアルク)
担当副会長 谷口 洋子 / 担当理事 森口 次郎・三木 秀樹・西村 幸秀

「女性の健康課題～産業保健活動における課題の整理と改善に向けた方策について～」を諮問

11月1日(水)第1回産業保健委員会が開催された。今期の委員会では、諮問事項「女性の健康課題～産業保健活動における課題の整理と改善に向けた方策について～」の議論を行うため、嘱託産業医、専属産業医、企業に所属する保健師など、計5名の委員を委嘱した。

冒頭、谷口副会長挨拶の後、委員長には古木勝也氏(福知山)、副委員長には辰巳仁子氏(中京西部)が選出された。

続いて、古木委員長進行の下、各委員の専門的見地より女性の健康課題について意見交換が行われた。委員からは、働きざかりの女性の生理痛や出産の問題、また閉経後に高まる転倒や認知症な

どのリスクも含め、女性の健康課題には幅広い問題があり、整理する必要があるとの意見や、企業ではノー残業デーや短時間労働の導入など、パフォーマンスの向上を重視した施策が多く見られる中、パフォーマンスを評価・分析するための指標等について意見が交わされた。

次回以降も引き続き、外部の産婦人科専門医の好事例や先進的取組みを行っている大手企業などにパフォーマンスの指標について講演をお願いするなど、企画を検討するとともに、本委員会で4、5回ディスカッションを実施して、第6回委員会で答申をまとめる。

医師年金

<認可特定保険業者> 公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員 (会員区分は問いません)

保険料はいつでも自由に増減できます!

予定利率は1.5% (令和5年5月現在)

- 年金検討チェックリスト
- 公的年金だけでは現役時代の生活水準の維持が難しい
 - コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
 - 一生涯受け取れる年金が望ましい
 - 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
 - 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい

余裕資金を随時払で上限なく増額できます

事務手数料は払込保険料に対して0.25%だけです

1つでも該当したら...

医師年金ご加入をおすすめします!

医師年金ホームページで、簡単シミュレーション!



医師年金 検索

<https://nenkin.med.or.jp>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額シミュレーションができます。ぜひお試しください。

▼個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

JMA 公益社団法人 日本医師会 年金福祉課

TEL : 03-3942-6487 (直通)
 FAX : 03-3942-6503
 受付時間 : 午前9時30分~午後5時 (平日)
 E-mail : nenkin@po.med.or.jp

医師年金

公認特定保険業者 日本医師会 年金福祉課
 TEL:03-3942-6487(直通)

保険料からプラン作成

加入年金	月給	100	60,000円
減額年金	月給	-100	12,000円
払込保険料総額 11,468,000円			
内訳	加入年金 (214回)	12,840,000円	
	減額年金 (214回)	2,568,000円	

設定条件

試算日 令和4年10月21日
 生年月日 昭和50年1月1日
 加入申込時期 令和4年10月15日
 加入 (払込) 月受月 令和4年10月 (61歳2ヶ月)
 加入年金増額払込月受月 令和4年10月 (47歳2ヶ月)
 年金受給開始年月 令和22年1月 (80歳6ヶ月未満)

注意事項

- ※申込期間は、15日付末日・期末日のいずれか、その前日となります。
- ※保険料率は、加入費ご本人で一括一括受取分限ることになります。
- ※いずれのコースも、保険開始年月から15年間の保険期間があり、受給者ご本人が保証期間中に亡くなる場合は、15年の満了の翌日以後は、ご遺族が年金を受け取ることができません。
- ※「受取コースの選択 (81~84)」は、受給開始時に決断したことになります。
- ※保険料ご本人によって、保証期間中の受取年金総額が払込保険料額よりも下ることがあります。
- ※受取開始年齢は、75歳まで延長できます。
- ※「受取開始年齢」は、15歳まで延長できます。現在は年率1.5%で計算になっており、将来、年金の制度変更が行われる場合、変更になる場合があります。

31コース 15年保証期間型受給タイプ

加入年金	15年保証期間15年	59,500円	終身
減額年金	15年保証期間15年	11,900円	終身
受取年金月額		71,400円	71,400円
15年受取年金総額		12,852,000円	

32コース 5年確定年金型

加入年金	5年	254,600円	
減額年金	15年保証期間15年	11,900円	終身
受取年金月額		266,500円	11,900円
15年受取年金総額		17,418,000円	

33コース 10年確定年金型

加入年金	10年	132,000円	
減額年金	15年保証期間15年	11,900円	終身
受取年金月額		143,900円	11,900円
15年受取年金総額		17,882,000円	

34コース 15年確定年金型

加入年金	15年確定型	91,200円	
減額年金	15年保証期間15年	11,900円	終身
受取年金月額		103,100円	11,900円
15年受取年金総額		18,558,000円	

00000301

20230501S21

京都内科医会 定例学術講演会

とき：10月21日(土) ところ：京都府医師会館 + WEB 配信

「頭痛診療の真相 ～片頭痛を理解し、明日の診療へ～」

医療法人石川医院 理事長 石川 光紀 氏

設問 1 頭痛の診断に関して、次の中から正しいものを2つ選べ。

- ①救急の場で二次性頭痛が疑われる場合には、画像診断としてCTもしくはMRIが必須である。
- ②慢性頭痛がある患者において、COVID-19感染症による頭痛は、罹患前にある頭痛と同じ頭痛を生じることが多い。
- ③片頭痛の発症機序には神経原性炎症が関与すると言われており、三叉神経血管説として支持されている。
- ④本邦において緊張型頭痛は、最も頭痛疾患の中で数が多く、片頭痛の併存率は低い。
- ⑤群発頭痛は女性にも発症が見られ、発作時自律神経症状が見られる。

解答 1 ③, ⑤

設問 2 頭痛の治療に関して、次の中から正しいものを2つ選べ。

- ①緊張型頭痛に適応のある治療薬には抗うつ剤も含まれ、予防療法として用いられるが、他の頭痛には使用しない。
- ②片頭痛に特化している、セロトニン受容体に作用する薬剤はトリプタン系、ジタン系があり、それぞれの特徴をよく説明して処方したい。
- ③CGRP関連抗体薬は、「最適使用推進GL」にしたがって使用すべきであるが、中止にあたっては最低6か月の経過を見て考慮することが望ましい。
- ④トリプタン製剤によるMOHは、今のところ存在しない。
- ⑤授乳中でも乳汁への薬剤以降を考慮した上で、投与が可能かどうかを考えてよい。

解答 2 ②, ⑤

第354回 京都整形外科医会

とき：10月28日(土) ところ：ハートンホテル京都 + WEB 配信

「変形性膝関節症に対する関節温存術と置換術の進歩」

東京女子医科大学医学部整形外科学 教授(主任)・基幹分野長 岡崎 賢 氏

設問 1 内側半月板後根損傷の臨床的特徴のうち、誤りはどれか。

- ①中高年に生じやすい。
- ②多くの場合、転倒やスポーツなどの外傷が原因である。
- ③急性発症の強い痛みを訴える。
- ④OA発症の高リスクとなる。
- ⑤MRI矢状断でPCLの内側での半月板像が不明瞭になる。

解答 1 ②

設問 2 膝の手術療法について正しいのはどれか。

- ① HTO のよい適応は進行期 OA である。
- ② 内反アライメントは半月板縫合術の成績不良リスクとなる。
- ③ UKA の長期成績は不良である。
- ④ TKA 後の全下肢アライメントで3度以上の内反や外反の残存は成績不良となる。
- ⑤ 人工膝関節術後のスポーツは禁ずるべきである。

解答 2 ②

京都医報を スマートフォン、タブレットで 快適に閲覧

「京都医報」は、印刷物やホームページのほか、スマートフォン、タブレットでも快適に閲覧していただけます。

最新号はもちろんのこと、バックナンバーもすぐに検索可能で、それぞれの端末に合わせてレイアウトが切り替わるレスポンス機能を採用していますので、ストレスなくご覧いただけます。

設定方法、操作方法については以下をご参照いただき、ぜひホーム画面にアイコン設定して毎号ご覧ください。



トップ画面



記事画面

尚、閲覧にはベーシック認証のIDとパスワードが必要です。設定方法、操作方法については下記のQRコードからご確認ください。ログイン用のIDとパスワードは1年間で変更いたします。毎年、京都医報7月15日号にて変更IDとパスワードをお知らせいたしますので、ご確認ください。



閲覧は
こちら



操作方は
こちら

△報告ならびに協議事項

1. 京都府医療推進協議会「府民の生命と健康を守るための総決起大会」について

現下の物価高騰が国民生活および医療機関等に及ぼす影響が看過できない水準にまで達しており、喫緊かつ恒常的な対応が求められ、その負担を医療機関が負わざるを得ないという状況を踏まえ、10月10日に日医など医療・介護42団体で構成する国民医療推進協議会が総会において、医療分野における物価高騰・賃金上昇に対する取組みを進め、適切な財源の確保を求める決議を採択したことを報告。これを受けて、京都府医療推進協議会が、令和5年11月19日(日)に府医会館3階大会議室にて「府民の生命と健康を守るための総決起大会」を開催することを案内し、参加を呼びかけた。

2. 最近の中央情勢について

9月下旬から10月中旬にかけての社会・医療保険状況について、◆財務省の財政制度等審議会・財政制度分科会は9月27日、2024年度予算編成に向けた「秋の建議」をまとめるため、議論を開始。財務省は、医科診療所(入院外)の1受診あたりの医療費(医療費の総額を受診延べ日数で割って算出)を「単価」と設定し、ほぼ一貫して増加していると指摘。特に、19年度から22年度にかけて年平均増加率は4.3%で、近年の物価上昇率を超えた水準で急増しているとした。◆日医の松本吉郎は9月29日の会見で、2024年度診療報酬に向けた考え方について、通常の変更に加え、物価高騰・賃金上昇、新型コロナ対応という3つの論点があり、「異次元の変更に」と表現。また、財務省の指摘に対し、「受診延べ日数は年々下がっており、コロナ後も十分に回復していない」と述べ、「1人あたり医療費」の上昇率は、物価上昇

率を下回っているとして、1受診あたり医療費ではなく、1人あたり医療費に着目すべきだと主張した。◆中医協の診療報酬基本問題小委員会において、「入院・外来医療等の調査・評価分科会」から、中間取りまとめを報告。委員の議論では、かかりつけ医機能を評価する「特定疾患療養管理料」が焦点の一つとなり、診療側は、分析のあり方に懸念を示した。厚生労働省は昨年度に実施した時間外対応加算の届け出状況に関する調査結果を踏まえ、中間まとめでは、時間外対応加算1・2の届け出をしている医療機関の方が、在医総管・施設総管、小児かかりつけ診療料、認知症地域包括診療料を届け出・算定している割合が多いと分析した。一方で、特定疾患療養管理料ではそうした差は見られなかったとした。これに対して、診療側の長島公之委員(日医常任理事)は、「特定疾患療養管理料の算定要件は在医総管・施設総管等と異なり、時間外対応は求められておらず、当然の結果ではないか」と述べた。◆厚生労働省は10月13日、「国民・患者に対するかかりつけ医機能をはじめとする医療情報の提供等に関する検討会」を初めて開き、かかりつけ医機能が発揮される制度の整備に向け、本格的な議論を始めた。かかりつけ医機能報告制度に関しては、これまで医療部会で、慢性疾患を持つ高齢者や継続的な医療を要する人に対し、かかりつけ医機能を地域で確保・強化するために取組む方針が示されていたが、河本滋史構成員(健保連専務理事)はかかりつけ医制度は全世代型社会保障構築の一環として行われると強調。「すべての国民が恩恵を受けることが不可欠。全世代、または幅広い疾患を対象とすべき」と主張した。これに対し、山口育子構成員(ささえあい医療人権センターCOML理事長)は「全世代対象を将来的に視野に入れるのは重要だが、国民の意識をかなり変えないといけない」とくぎを刺すとともに、国民が広く予防的な

観点でかかりつけ医を持つ必要があるほか、専門医の医学教育のあり方にも影響してくると指摘し、「国民が置き去りにならないよう、議論を進める必要がある」と述べた。—といった話題を中心に説明した。

地区からは、医療費について、海外の薬や高額な医薬品の医療費を保険で賄うことで財源が圧迫されるのではないかととして、安価な医薬品への影響に懸念が示された。府医は、安価な医薬品については保険診療から外すか、非常に高価な医薬品に関しては海外に倣い、医療費負担を5割、10割にするなど様々な意見があることを紹介した上で、あまりに高価な医薬品は保険で賄いきれないため、保険診療外や他の基金を設立していくことで保険診療以外から財源を確保することも検討すべきであると回答した。

3. 府医主・共催学術講演会 実施予定について

11月に予定している府医学術講演会を紹介し、参加を呼びかけた。

4. 麻薬免許の更新申請について

有効期限が令和5年12月31日の麻薬免許の更

新手続きの期限が迫っているため、更新未申請の先生方は速やかに手続きを行うよう注意を促した。

また、今回の更新手続きを行わず、麻薬業務を廃止する場合は、免許の廃止手続きが必要であると補足した。

5. 診療情報連携に関する診療報酬について

前回の協議で、地区より、専門医への紹介やその後の情報共有に関して、現在の診療報酬点数ではこの双方向の連携に対する評価がされていないとの指摘があったことを受け、改めて府医の見解を示した。

双方向の情報共有に対する評価として、連携強化診療情報提供料150点が設定されているが、一定の算定要件が設けられ、どちらかの医療機関がかかりつけ医機能を有することとされ、具体的には地域包括診療加算などの施設基準を届出していることが要件となると説明。他の医療機関からの求めに応じてではなく、自ら必要と判断し情報共有した場合に算定できるようにすべきとの意見に対して、府医としても算定要件の緩和が必要との考えを示し、今後検討し、要望していきたいと回答した。

「京都医報」へのご投稿について

府医では、会員の皆さまから「会員の声」「北山杉」「他山の石」「私の趣味」「診療奮闘記」の各種原稿を下記要領にて募集しております。是非ともご投稿ください。

なお、字数は原則として下記のとおりですが、最大でも3000字（医報2ページ分、写真・図表・カット（絵）等を含む）までをお願いいたします。原稿の採否は、府医広報委員会の協議により決定します。場合によっては、本文の訂正・加筆、削除、分載等をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。

また、同じ著者の投稿は原則として1年間に1編とします。

【原稿送付先・お問い合わせ先】

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6 京都府医師会総務課「京都医報」係
TEL 075-354-6102 FAX 075-354-6074 e-mail kma26@kyoto.med.or.jp

会員の声 「会員の声」には、医療についての意見、医師会への要望・批判などを1200字程度にまとめてお寄せください。

北山杉 「北山杉」には、紀行文・エッセイなどを1200字程度でお寄せください。

他山の石 これまでに体験した「ヒヤリ・ハット」事例を1200字程度でお寄せください。特別な形式はありませんが、①事例内容 ②発生要因 ③その後の対策等—についてご紹介ください。掲載にあたっては、原則「匿名」とさせていただき、関係者などが特定できない形での掲載となります。

私の趣味 「自転車」「DIY（日曜大工）」「料理」「園芸」「旅行」「映画」「書籍（医学書以外）」「音楽」「演劇鑑賞」「ワイン（酒）」「登山日記」「鉄道」などについてジャンルは問いません。

読者に知ってもらいたい、会員の先生方の深い造詣を1200字程度でご披露いただければ幸いです。

診療奮闘記 日常診療で尽力されている事柄や感じていること、出来事などについてのご投稿をいただくことで、会員の先生方の参考となればと思っております。こちらも1200字程度でお寄せください。

京都医学史研究会

医学史コーナー

醫の歴史

— 医師と医学 その55 —

○明治・大正の医療

その22 英世追慕④

前号まで野口英世（1876～1928）のNY・ロックフェラー医研での活躍を述べてきたが、1911年に家庭生活にも大きな変化があった。

英世は1900年12月、24歳でアメリカに渡り、Penn大のフレクスナー博士のもとで研鑽を積み、博士共々1904年10月、新設のNYロックフェラー医学研究所に移籍した。以降、1928年アメリカに客死するまでロック医研を離れなかった。

英世の結婚

1911年4月、英世はアパートに同居していた留学生の宮原立太郎（日本にX線機器を導入）や荒木紀男（歯科医、歯科材料を開発）に「結婚するから」とアパートを出てマンハッタン・セントラルパークの西側のアパート5階に新世帯を構えた。

妻・Mary Louretta Dardis
(1876. 6. 1～1947. 12. 31)

メリー・ロレッタ・ダージス、ニュージャージー市に提出された婚姻証明書の日付は1911年4月10日、年齢：英世・34歳 妻35歳 職業欄：英世 医者 (Physician) 妻 空白 住所：308WIIIst. と記載・受理されている。徒手空拳の英世が渡米して10年、ともかく家族を持つ身になったのである。

妻・35歳 ペンシルベニア州スクラントン出身 出生地・スクラントンはNYの北西160kmに位置し、1900年代初頭は炭坑・鉄鋼の街で栄えた。メリーの両親はアイルランドからの移民で、父と3人の弟はいずれも臨時日雇炭坑夫で、その日暮らしの貧乏長屋の住人であった。それでメリーは教育教養を身につける機会に恵まれず、

15歳からメイド・子守りに出て家計を助け、のちNYに出て大衆酒場に勤めた。そこで知りあったのが英世である。

メリーは身の丈6尺近い大柄な女人で女っぶりのよい美人であり、小男の英世（150cm）は大女の美女メリーを非常に気に入った。またメリーは聞きしに勝る大酒飲みであったが、英世も酒飲みであったから全く意に介さなかった。それにしてもメリーの35歳までの足跡は不明である、多分暮らしぶりは身過ぎ世過ぎの苦勞の連続だったと推察できるが、英世にはそれも好ましいことであり、医者連中に介在する学閥・門閥をメリーに取り繕う必要はなく、ありのままの自分をさらけ出しても構わない相手だったのである。

実は 博士や猪苗代時代の小林榮先生が教育教養を身につけた良家の子女を世話しようと試みたが、英世は全く耳を貸さずメリーと結婚してしまったのである。

ところで ロック医研では結婚時には花嫁花婿を所員家族たちにお披露目するしきたりがあった。そしてそのほとんどの新妻はそれ相応のふさわしい履歴の持ち主であったから、とかくの良からぬ噂が絶えない無教養のメリーを所員一同の矢面に立たせることを英世は極力避けたかった。しかし、新妻お披露目パーティーは逃れる術がなく、ごく内輪だけで催すことにした。案の定、列席の婦人連と新妻のメリーは、和氣藹々とはいかず、早々にお開きになった。とはいえ、この中年同士の結婚は英世にとって成功であった。なぜなら1911年以降、英世は医学的業績を着々と重ねて「世界の英世」に変貌して名声を上げたのである。

— 続く —

(京都医学史研究会 葉山 美知子)

第31回日本医学会総会 2023 東京に参加して

< AIにより医療界にも大きな転換期～戸惑った第31回日本医学会総会 >

宇治久世医師会 土井 邦紘

1. ペーパーレスの参加手続き

総会の登録、進行状態、抄録集、参加証などの手続き、お知らせがすべて医学会総会初めてペーパーレスで処理されました。メールで2022年9月4日に事前参加登録を行いました。プログラムや抄録集の案内は通知があるものと思いましたが、連絡がなく、事務局へ問い合わせました。事務局から、メールで連絡済みとの返事がありました。現地登録の場合は「参加証引換券」を印刷して（スマートフォンでも可）持参することが判明しました。すべてがIT媒体で済まされていたのです。私が演者の一人として発表させていただいた1983年の「大阪で開催された総会」とは大違いでした。

戸惑いもあり、過去3回の医学会総会はどのような内容であったかと調べてみました。

2. 過去3回の日本医学会総会の流れ

過去3回の日本医学会総会のテーマはその時代を表しています。その流れを追ってみました。

1) 第28回日本医学会総会（2011年）の会頭は矢崎義雄独立行政法人国立病院機構理事長で、東北地方太平洋沖地震があったため会場での講演会、博覧会は中止され、学術講演会、展示については電子媒体やWEBにて開催されました。

「いのちと地球の未来を拓く医学・医療を理解・信頼・そして発展」をメインテーマとして、社会との関わりを重視している点が特徴であり、医療は社会とともに歩むというスタンスがとられています。少子高齢化が

進み、医療が高度化するとともに医療介護・福祉の充実が叫ばれ、複雑な社会構造を呈していました。そのため、従来と異なり、医師以外の参加者も必然的に重視され、コメディカルなどを対象としたプログラムも盛り込まれました。しかし、一方ではバブル崩壊後、経済成長が停滞し始め、将来展望を十分検討されることなく突き進みました。この時期はある意味、医療と社会のミスマッチが派生していた時代でした。

2) 第29回（2015年）の会頭は井村裕夫先端医療振興財団理事長であり、「医学と医療の革新を目指して—健康社会をともに生きるきずなの構築—『医と人間』」をメインテーマに、健康長寿社会に寄与する技術革新として「ゲノム医療」、「ビッグデーター人工知能」、「ロボット技術」、「再生医療」の4つを挙げて、その現状と将来展望した総会でした。

医学は人の心身の健康を守り、病気を癒すための学問として発展してきました。しかし、20世紀の後半から科学・技術が進歩し、医学も病気の診断、治療など飛躍的な発展を遂げました。高齢化社会を迎え、この時期、医学・医療は従来の感染症から糖尿病・循環器疾患など慢性の非感染性疾患が全世界で増加して全治が難しいものであり、予防が重要な課題となっていました。高齢者の増加と医療技術の進歩にともなう医療費・介護費の高騰は少子高齢化を迎えた先進国、なかでも急速に変化している日本では医療制度の維持が困難となり、近い将来、社会

の基盤を揺るがす深刻な問題となることを予測しています。

3) 第30回(2019年)の会頭は齋藤英彦名古屋大学名誉教授であり、「医学と医療の深化と広がり～健康長寿社会の実現をめざして～『医の希望』」をメインテーマとして、日本人の平均寿命が延びている一方で、健康寿命との乖離も進んでおり、医学・医療の原点は人の「生老病死」に寄り添うことであるが、長寿社会が進んだことで「生老病死」の境界がなくなりつつあります。その上で健康長寿社会に寄与する技術革新として、「ゲノム医療」、「ビッグデータ・AI(人工知能)」、「ロボット技術」、「再生医療」の4つを挙げました。AIの技術的な応用はゲノム医療活用のみならず、画像診断支援、内視鏡ロボット、心電図、尿分析装置、顕微鏡、光学像上にAIによる分析など広範囲に実用開発が世界中で進んでいました。

4) 今回の第31回(2023年)の会頭は春日雅人公益財団法人朝日生命研究所所長、テーマは「ビッグデータが拓く未来の医学と医療～豊かな人生100年時代を求めて～」であり、今回の学会は内容にも戸惑いました。「遺伝子」と「AI」、「コロナ」のオンパレードです。コンピューターの大型化とともに遺伝子が容易に測定され、大量の検査結果とともにAIに取り込み診断、治療、創薬などに使われようとしています。医療界もAIにより大きく変わろうとしています。今回は、その過程でも将来、振り返った時に歴史上に大きく変革した時点であり、飛躍的に進歩がみられたターニングポイントであったと映るでしょう。ここ2～3年で医療、医学の見方が変わり、医療界を超えた各方面のエキスパートとの相互研究が必要となるでしょう。しかし、参加者からも質問がありましたが、「マインド」なくしては人類にとっての進歩にはならないでしょう。

従来の総会のような実臨床を期待した私には少し期待外れでしたが、衝撃的な医学会総会でもありました。

3. 急速な進歩を見せているAI開発

昨年11月に米国でオープンAIの対話型ChatGPTが出現して以来、瞬く間に全世界に広がりました。AIの容量が拡大するとともに各分野でChatが導入されました。例えば、生成AIなどは俳優の姿、音声などを一度取り込むと、その後は、製作者がイメージした映画の作成が可能であり、米国で、映画俳優、脚本家、そのほか映画作成にかかわってきた人達の大規模なストライキが各地で行われていることはご存じのことと思います。AIにより、仕事が減り、収入が減り、死活問題となります。Chat・AIのさらなる開発はAIが勝手に動き出す危険性が危惧されています。そのため、イギリス、カナダ、イタリアなど各地区で使用制限を求めようとしています。今回の医学総会後まだ5ヶ月しか経っていませんが、恐ろしいほどのスピードで世界に広まっています。「人工知能は人には変わることは永遠にできない」と言っていた時代がありましたが、どこまで通用するのでしょうか。AIが人間の知能を超えるシンギュラリティーは2045年に来ると言われていましたが、10年ほど早まっているとされています。一般人にとっては未知の世界であり、かつては人類にとって望んでいたことが実現するでしょうが、それとともに恐ろしい将来となりはしないかと心配です。



京都府医師会学校医研修会のご案内

令和5年度の学校医研修会を下記のとおり開催いたします。視聴ご希望される方は下記の「視聴方法」によりご視聴ください。

記

- と き** 令和6年1月20日(土) 午後2時～午後3時30分
- と ころ** 府医会館 (Web)
- 講 師** 京都府医師会理事・京都産婦人科医会理事
細田レディースクリニック院長 細田 哲也 氏
- 演 題** 「学校と連携した妊娠・出産に関する啓発事業について (仮題)」
※府医指定学校医制度指定研修会 1単位
※日医生涯教育講座 カリキュラムコード 11. 予防と保健 1.5単位

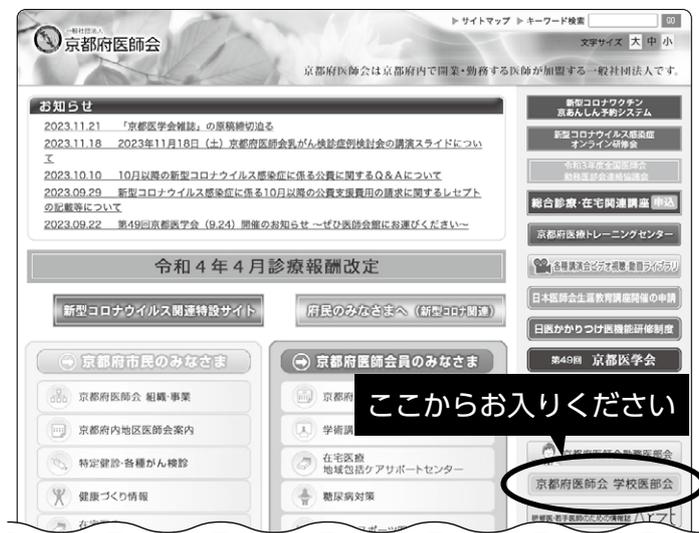
「視聴方法」

開催日時になりましたら府医ホームページより

「トップページ」→「京都府医師会学校医部会」→「京都府医師会学校医研修会」

の順にお入りいただき視聴してください。

本研修会はオンデマンドではありません。開催時間内にだけ聴講可能です。



第72回近畿医師会連合学校医研究協議会総会

参加者募集（府医指定学校医制度：1単位認定）

下記プログラムのとおり標記総会が近医連主催、滋賀県医担当で開催されます。参加をご希望の方は、府医のホームページよりお申し込みください（トップページの「京都府医師会学校医部会」欄からお入りいただきますと本件の申込フォームにおはいいいただくことができます）。申し込み期間 令和6年1月15日(月)までとなります。なお、参加費は無料です。

記

目 的 近畿2府4県の学校医の地位向上を図り、学校保健に関する学術研究を行い、もって地域保健の推進に寄与する。

主 催 近畿医師会連合（担当：滋賀県医師会）

後 援 滋賀県教育委員会

日 時 令和6年2月18日(日) 午後1時～午後4時10分

会 場 びわ湖大津プリンスホテル
(大津市におの浜四丁目7-7 (TEL 077-521-1111))

内 容

①開会式 (13:00～13:15)

挨拶	近畿医師会連合学校医研究協議会長・滋賀県医師会長	越智 眞一氏
来賓祝辞	日本医師会長	松本 吉郎氏
	滋賀県教育委員会教育長	福永 忠克氏
来賓紹介	日本医師会常任理事	渡辺 弘司氏

②報告・表彰 (13:15～13:30)

(1) 物故会員の報告（黙祷） (2) 会務報告 (3) 永年勤続学校医表彰

③研究発表 (13:35～15:00)

各府県医師会よりの発表

④講 演 (15:00～16:00)

『子どもの視力障害等（仮）』 京都府立医科大学眼科学教室 講師 稗田 牧氏

⑤閉会式 (16:00～16:10)

京都府医師会主催
「第19回指導医のための教育ワークショップ」
参加者募集

と き 令和6年2月23日(金・祝)～24日(土)

開催形態 Zoom を利用したオンライン開催
上記日程と別にe-ラーニングで受講いただくカリキュラムも予定しています

定 員 24名
※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。
また、応募人数が12名に達しない場合は開催を中止させていただく場合がございます

申し込み期限 12月25日(月) ※ただし、定員に満たない場合は延長します。

参加費 会員：20,000円 非会員：25,000円

修了証 京都府医師会長、日本医師会長、厚生労働省医政局長連名の修了証書を交付

申込先 ご希望の方は、氏名、病院名、役職、診療科、年齢、連絡先を明記の上、下記までご連絡
ください。
京都府医師会 学術生涯研修課 (TEL：075-354-6104 FAX：075-354-6074)

日本医師会セキュリティガイドライン相談窓口について

京都医報7月1日号にて、日医サイバーセキュリティ支援制度の拡充についてお知らせしたところですが、その中の「医療情報システム安全管理ガイドラインに関する相談窓口の設置」につきまして、今般、令和5年10月31日付で「日本医師会セキュリティガイドライン相談窓口」が新設されました。

なお、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン解説資料・動画」につきましては、「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリストの実践ガイド」と「セミナー動画」として、12月以降の公開が予定されております。詳細がわかり次第、改めてお知らせします。

■日医セキュリティガイドライン相談窓口

(1) 具体的なサービス提供内容

医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリストの実践ガイドおよびセミナー動画、それらに付随する「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第6.0版」に関する各種ご相談（※）に対応

※「サイバー攻撃に遭った際の初動対応のフローを作成したい」、「インシデントが起こったわけではないが、万一発生した際に、どのような手順を踏めばいいのか教えてほしい」等

(2) 窓口運営時間

平日9時～18時（土日、祝日、年末年始は休業）

(3) 連絡先

TEL：0120-339-199

(4) 費用

無料（何度でも利用可能）

(5) 利用時の注意点等

- ・相談窓口ご利用時には、電話口で日医A①会員が開設・管理する医療機関または介護サービス施設・事業所であることを確認させていただきます。具体的には、A①会員名、医療機関名または介護サービス施設・事業所名、所在地、医籍番号（6桁）もしくは会員番号（10桁）を確認いたしますので、これらが分かるものをご用意の上ご連絡ください。
- ・A①会員本人に加え、職員の方からのお問い合わせも可能です。
- ・郡市区等医師会の事務局の方からのお問い合わせも可能です。

【日医メンバーズルーム内専用ページ】

https://www.med.or.jp/japanese/members/info/cyber_shien.html

日医かかりつけ医機能研修制度 修了申請について

日医かかりつけ医機能研修制度は「今後のさらなる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼される『かかりつけ医機能』のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上することを目的」として日医が平成28年4月1日に新設した制度です。

この度、令和5年度の申請時期（令和5年12月1日～令和6年1月31日）となりましたので、申請に係る手続き等を以下のとおりお示しいたします。

なお、申請用紙につきましては、前号付録のほか、府医 HP（下記参照）にもアップしておりますのでご利用ください。

※府医 HP：日医かかりつけ医機能研修制度 (<https://www.kyoto.med.or.jp/kakari/>)

令和5年度における申請について

【対象】

令和5年12月31日(日)までに申請要件を満たされた医師
(令和4・5年度発行の日医かかりつけ医機能研修制度の認定証をお持ちの場合を除く)

【申請要件】

- ・日医生涯教育制度認定証の取得
- ・日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修単位を10単位以上取得
- ・日医かかりつけ医機能研修制度 実地研修における特定の項目を2つ以上実施

【提出書類】

- ①日医かかりつけ医機能研修制度 修了申請書
- ②日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修受講報告書
- ③日医かかりつけ医機能研修制度 実地研修実施報告書（注：地区名・会長名の欄には「地区医会長の自署+印」または「地区名・会長名のゴム印」が必須です）
- ④日医生涯教育認定証のコピー（今回の申請には下記の認定証が有効）

受領年度	認定証に記載されている有効期間
令和3年度	令和3年（2021年）12月1日～令和6年（2024年）11月30日
令和4年度	令和4年（2022年）12月1日～令和7年（2025年）11月30日
令和5年度	令和5年（2023年）12月1日～令和8年（2026年）11月30日

上記4点を揃えて府医 学術生涯研修課にご提出ください（郵送または持参）。

【修了申請の受付期間】

令和5年12月1日(金)～令和6年1月31日(水)

【申請手数料】

府医に未入会の方は申請手数料が掛かります。詳細は下記へお問い合わせください。

【認定証の交付日】

令和6年4月に交付予定

【提出先・お問い合わせ先】

京都府医師会 学術生涯研修課 (TEL: 075-354-6104)

令和5年度の要件について

日医かかりつけ医機能研修制度			令和5年度 申請版
【研修要件】			
基本研修	応用研修	実地研修	
<ul style="list-style-type: none">■ 日医生涯教育認定証の取得 <p>(3年間で単位とカリキュラムコードの合計が60以上取得された方に発行しています)</p> <p>注: 令和3・4・5年度に受領したいずれかの認定証が有効です</p>	<ul style="list-style-type: none">■ 日医かかりつけ医機能研修制度における応用研修単位の10単位以上の取得 <p>(応用研修単位が付与された研修会や詳細等については、「応用研修受講報告書」をご参照ください)</p>	<ul style="list-style-type: none">■ 社会的な保健・医療・介護・福祉活動, 在宅医療, 地域連携活動等の特定の活動を2つ以上実施 <p>(規定の活動の詳細は「実地研修報告書」をご参照ください)</p>	

日医かかりつけ医機能研修制度

令和5年度
申請版

応用研修

令和3年(2021年)1月1日～令和5年(2023年)12月31日において、下記項目より10単位を取得することが要件です。

単位数については1～11の各項目(講義内容)につき最大2回までのカウントを認め、下記1～6については、それぞれ1つ以上の科目を受講することが必須です。

【応用研修会】(各1単位)

1. 「かかりつけ医の質・医療安全」, 「かかりつけ医の感染対策」, 「今後の新興感染症を踏まえた感染対策」
2. 「メタボリックシンドロームからフレイルまで」, 「フレイル予防・対策」, 「介護保険制度における医療提供と生活期リハビリテーション」
3. 「地域医療連携と医療・介護連携」, 「地域リハビリテーション」, 「口腔・栄養・リハビリテーションの多職種協働による一体的取組」
4. 「地域包括ケアシステムにおけるかかりつけ医の役割」, 「かかりつけ医と精神科専門医との連携」, 「日常診療で留意する皮膚科・眼科・耳鼻科の症候」
5. 「リハビリと栄養管理・摂食嚥下障害」, 「オンライン診療のあり方」, 「尊厳の保持と自立支援のための認知症ケアと生活支援」
6. 「地域連携症例」, 「新型コロナウイルス感染症とかかりつけ医」, 「症例検討～意思決定を尊重した看取り／フレイルの改善へ向けた取組～」

【関連する他の研修会】

7. 「地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会」等の受講(2単位)
※全講義受講者のみ取得可
8. 「かかりつけ医認知症対応力向上研修」, 「かかりつけ医認知症対応力向上研修 地区別研修」の修了(1単位)
9. 「かかりつけ医・産業医等うつ病対応力向上研修」の修了(1単位)
10. 「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」の修了(1単位)
11. 「日本医学会総会」への出席(2単位)

日医かかりつけ医機能研修制度

令和5年度
申請版

実地研修

・令和3年(2021年)1月1日～令和5年(2023年)12月31日において、下記項目より2つ以上実施していることが要件です。

1. 学校医・園医, 警察業務への協力医
2. 健康スポーツ医活動
3. 感染症定点観測への協力
4. 健康相談, 保健指導, 行政(保健所)と契約して行っている検診・予防接種の実施
5. 早朝・休日・夜間・救急診療の実施・協力
6. 産業医・地域産業保健センター活動の実施
7. 訪問診療の実施
8. 家族等のレスパイトケアの実施
9. 主治医意見書の記載
10. 介護認定審査会への参加
11. 退院カンファレンスへの参加
12. 地域ケア会議等[※]への参加(※会議の名称は地域により異なる)
13. 医師会, 専門医会, 自治会, 保健所関連の各種委員
14. 看護学校等での講義・講演
15. 市民を対象とした講座等での講演
16. 地域行事(健康展, 祭りなど)への医師としての出務

※実地研修報告書の地区名・会長名の欄には「地区医会長の自署+印」または「地区名・会長名のゴム印」が必須となります(上記の押印等がない場合は申請を受け付けることができませんのでご注意ください)。

府医会館会議室の利用について

府医会館会議室の利用を希望される場合は、府医総務課に予約状況等を直接ご確認ください。追って申込用紙（使用許可願）を送付いたします。

- ※・盆休み（8月15日・16日）、年末年始（12月29日～1月4日）は休館日となり、ご利用できません。
- ・土曜日ならびに日曜日は、少人数の事務局職員が出務しております。各種手続きやお問い合わせに一部対応できない場合がありますので、ご了承ください。
- ・会議室の利用可能時間は、午前9時30分～午後5時までです。
- ・土・日曜日の利用料金は、平日料金の30%割増しとなります。
- ・土・日曜日の会議室利用の際は、急病診療所の診療時間内であるため、駐車場のご利用を控えていただいております。来館時には公共交通機関をご利用ください。特に日曜日、祝日については駐車券の割引処理もできませんので、ご注意ください。

問い合わせ先：京都府医師会 総務課
TEL：075-354-6102 FAX：075-354-6074
Mail：soumu@kyoto.med.or.jp

子育てサポートセンター

京都府医師会では、京都府内で働いている医師を対象に、お子さまの一時預かりサービスを行っております。医師会館内の保育ルームにて専属保育士がお子さまをお預かりいたします。

子育てサポートセンターのホームページから、WEBにて利用予約が可能です。

また、新規登録された方やお知り合いをご紹介して下さった方へ体験保育（4時間まで保育無料）も実施しておりますので、是非子育てサポートセンターをご利用ください。



詳細はホームページをご覧ください。
◀ <https://kosapo.jp/>



会員消息

(10/ 5, 10/12 定例理事会承認分)

入 会

氏 名	会員区分	地 区	医 療 機 関	診療科目
田中 紀實	A	中 西	中京区烏丸通六角下ル七観音町 630 読売ビル 1 F 六角田中クリニック	内・糖内
川村 孝治	A	西 京	西京区桂野里町 17 ミュー阪急桂 3 F 小児科アレルギー科かわむらクリニック	児・アレ
井本 博之	A	伏 見	伏見区桃山町本多上野 84-11 いもと桃山クリニック	内・児・ 緩和内
田嶋 哲也	B 2	京 大	左京区聖護院川原町 54 京都大学医学部附属病院	胆肝膵外

異 動

氏 名	会員区分	地 区	医 療 機 関	診療科目
岩崎 淳	A→A	東山→東山	東山区三条大橋東入 4 丁目七軒町 22 いわさき整形外科医院 ※医療機関移転にともなう異動	整外・リウ・ リハ
塩谷 易之	A→A	綴喜→綴喜	京田辺市河原御影 30-52 しおたに眼科 ※法人化にともなう異動	眼
岡野 博之	B1→A	中東→中東	中京区寺町通二条上ル要法寺町 714 耳鼻咽喉科岡野医院	耳
石上 俊一	B1→A	下西→山科	山科区大宅古海道町 52 老人保健施設いわやの里	外・消外
岡野 光博	A→B1	中東→中東	中京区寺町通二条上ル要法寺町 714 耳鼻咽喉科岡野医院	耳
浮村 直樹	A→B1	左京→西京	西京区大枝沓掛町 13-107 洛西シミズ病院	内・循内・消内
今井 重昭	B1→D	中東→中東	—	

※D会員は住所がご自宅となるため、掲載しておりません。

退 会

氏 名	会員区分	地 区	氏 名	会員区分	地 区	氏 名	会員区分	地 区
田中 実	A	中 東	白数 邦彦	A	中 西	植木 智之	B 1	伏 見
武内 俊史	B 1	山 科						

田中 道明氏／地区：京都北・上賀茂班／9月13日ご逝去／92歳

河野 忠義氏／地区：伏見・住吉班／9月26日ご逝去／85歳

謹んでお悔やみ申し上げます。

第24回 定例理事会 (10月5日)

報 告

1. 10月1日現在の会員数
9月1日現在 4,402名 (日医 3,233名)
10月1日現在 4,395名 (日医 3,225名)
2. 会員の受賞
3. 融資斡旋の状況
4. 令和5年度府医懇親ゴルフ大会の状況
5. 産業医研修会の状況
6. 第1回産業医部会幹事会の状況
7. 第1回産業医部会正副幹事長会の状況
8. <京都府>ワクチン確保検討会の状況
9. 第1回前立腺がん検診委員会の状況
10. 令和5年度「第1回京都在宅医療塾 探究編」の状況
11. 第27回府医健康講座の状況
12. 第1回乳幼児保健委員会の状況
13. 第2回母体保護法指定医師審査委員会の状況
14. 第49回京都医学会の状況
15. 第1回勤務医部会幹事会の状況

議 事

16. 京都府・京都市等外部審議会委員等の推薦ならびに推薦替えを可決
17. 会員の入会・異動・退会10件を可決
18. 常任委員会の開催を可決
19. <京都府老人福祉施設協議会>「2023京都府高齢者福祉研究大会」の後援を可決
20. 災害対策小委員会委員の委嘱と第1回委員会の開催を可決
21. 第52回京都市小学生陸上競技記録会ならびに第43回京都市小学生持久走記録会への

- 医務役員の派遣を可決
22. 男子第74回・女子第35回全国高等学校駅伝競走大会への協力を可決
23. 皇后盃第42回全国女子駅伝競走大会への協力を可決
24. 「京都マラソン2024」大会運営への協力と救急医師推薦を可決
25. 天皇盃第35回全国車いす駅伝競走大会への協力を可決
26. 母体保護法による指定を可決
27. 第3回母体保護法指定医師審査委員会の開催を可決
28. 令和5年度家族計画・母体保護法指導者講習会の出席を可決
29. 母体保護法指定医師研修会の開催を可決
30. 肺がん検診読影委員の追加委嘱を可決
31. 第2回産業医部会正副幹事長会の開催を可決
32. 第2回産業医部会幹事会の開催を可決
33. 救急告示病院視察日程を可決
34. 研修医・若手医師向け情報誌「Arzt」vol.13の発刊を可決
35. 学術講演会への共催および日医生涯教育講座の認定を可決
36. 医事紛争相談室員の追加委嘱を可決
37. 令和5年度近医連医療安全担当理事連絡協議会への出席を可決
38. 令和5年度第1回医療安全講演会の開催を可決
39. <京都府看護協会>令和5年度医療安全シンポジウムの後援を可決

第25回 定例理事会 (10月12日)

報 告

1. 会員の逝去
2. 第5回地区庶務担当理事連絡協議会の状況
3. 10月度総務担当部会の状況
4. 10月度保険医療担当部会の状況
5. 第3回近医連保険担当理事連絡協議会の状況
6. 10月度地域医療担当部会の状況
7. 令和5年度京都府周産期医療協議会の状況
8. <日医>令和4年・5年度第6回地域医療対策委員会の状況
9. 第4回近医連常任委員会の状況

議 事

10. 京都府・京都市等外部審議会委員等の推薦ならびに推薦替えを可決
11. 会員の入会・異動・退会7件を可決
12. 第6回地区庶務担当理事連絡協議会の開催を可決
13. 府医第211回臨時代議員会の日程変更を可決
14. 定例理事会休会を可決
15. 京都府医療機関等サイバーセキュリティ共同対処協定の締結を可決
16. 府医京都医学会雑誌投稿・編集規則の一部改正を可決
17. <一般社団法人京都精神保健福祉協会>「こころの健康づくり大会・京都2023」の後援を可決
18. 第36回京都府眼科学校医研修会の共催を可決
19. 第66回京都府学校保健研究大会の共催ならびに参加を可決
20. 第45回京都府小児保健研究会の後援を可決
21. <脳外傷・高次機能障害リハビリテーション講習会実行委員会>2023年度脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会の後援を可決
22. <京都府立医大附属病院>第29～34回地域連携カンファレンスの後援を可決
23. <京都地域リハビリテーション研究会>第27回京都地域リハビリテーション研修会の後援を可決
24. <京都府立医大附属病院>「地域連携の集い」の共催を可決
25. 急病診療所職員（医療事務）の採用を可決
26. <NPO法人京都禁煙推進研究会>第25回卒煙サポーター養成講座の後援を可決
27. <一般社団法人乙訓医師会>乙訓地域包括ケアシンポジウムの後援を可決
28. <公益社団法人京都府看護協会>「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」の広報協力を可決
29. 第54回近畿地区医共同利用施設連絡協議会へのパネラー推薦ならびに出席を可決
30. 産業保健委員会委員の委嘱と第1回委員会の開催を可決
31. 産業医研修会の開催を可決
32. 産業保健に係る日医への意見具申を可決
33. <特定非営利活動法人HTLV-1全国ねっと>世界HTLVデー2023に係る京都タワー・ライトアッププロジェクトの後援を可決
34. 令和5年度認知症対応力向上多職種協働研修（右京医師会，綴喜医師会）の開催を可決
35. 学術講演会への共催および日医生涯教育講座の認定を可決
36. 第5回近医連常任委員会への出席を可決

京都府医師会ホームページを ご利用ください！



府医ホームページでは、府医の活動を会員に迅速に伝達するコンテンツを用意しています。ぜひご活用ください。

府医ホームページ URL

<https://www.kyoto.med.or.jp/>

■ 京都医報

<https://www.kyoto.med.or.jp/member/report/index.shtml>

■ 府医トレセン

<https://www.kyoto.med.or.jp/tracen/>

■ 府医在宅医療・

地域包括ケアサポートセンター

<http://kyoto-zaitaku-med.or.jp>



会員向けのページ内「京都医報」は、ページビュー画面での閲覧、検索機能など、より見やすく、より使いやすい機能となっております。ぜひご活用ください。

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症情報は、府医ホームページ「新型コロナウイルス関連特設サイト」をご覧ください。

広報誌『Be Well』のバックナンバー紹介

ご好評をいただいております府医発行の府民・市民向け広報誌『Be Well』につきましては現在101号まで発行しております。

右記のバックナンバーにつきましては在庫がございますので必要な方は

府医：総務課
(TEL 075-354-6102)

までご連絡ください。

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| 38号▶エイズ患者・HIV感染者
今のままでは増え続けます | 83号▶大人の便秘症 |
| 42号▶男性の更年期障害 | 84号▶熱中症 |
| 47号▶一酸化炭素中毒 | 85号▶毒虫 |
| 54号▶子宮がん | 86号▶動脈硬化 |
| 55号▶ヒブワクチンと小児用肺炎
球菌ワクチン | 87号▶夜間の頻尿 |
| 65号▶感染症罹患時の登園（校）
停止基準と登園届 | 88号▶認知症 |
| 69号▶PM2.5と呼吸器疾患 | 89号▶CKD（慢性腎臓病） |
| 70号▶BRCAについて | 90号▶急性心筋梗塞 |
| 76号▶RSウイルス感染症, ヒトメ
タニューモウイルス感染症 | 91号▶消化器がんの予防と検診 |
| 77号▶性感染症 STI | 92号▶知っておきたいたばこの事
実 |
| 78号▶コンタクトレンズによる目
の障害 | 93号▶白内障 |
| 79号▶肝炎・肝がん | 94号▶ロコモ |
| 81号▶爪のトラブル（巻き爪・爪
白癬） | 95号▶子宮頸がん |
| 82号▶脳卒中 | 96号▶心房細動 |
| | 97号▶糖尿病 |
| | 98号▶アトピー性皮膚炎 |
| | 99号▶甲状腺について |
| | 100号▶肺がん |
| | 101号▶不妊治療 |

サイバーセキュリティのことなら「サイ窓」へご相談ください！

日本医師会サイバーセキュリティ対応相談窓口

TEL 0120-179-066 年中無休・対応時間：6時～21時

サイバーセキュリティに関連する日常の些細なものからランサムウェアへの感染トラブルまで幅広く相談できる相談窓口です。

日医A①会員のいる医療機関であれば、勤務医の方や事務員からの相談も可能です。

- *サイバー攻撃を受けた場合など、情報セキュリティ・インシデント発生時の緊急連絡先
京都府警察本部 TEL 075-451-9111（代表）
サイバーセンター サイバー企画課（平日午前9時～午後5時45分）
※休日・夜間は京都府警察本部 生活安全当直が対応

京都府医師会 会費減免についてのお知らせ

京都府医師会では、傷病、不慮の災害、産前・産後休暇・育児休業、その他特別の事由による、会費減免制度がございます。

詳細については府医・経理課（075-354-6103）までお問い合わせください。

救急蘇生訓練人形等の貸出について

府医では、地区医・京都市消防局・京都府各消防本部の協力により、救急蘇生訓練の啓発を推進しております。

下記の救急蘇生訓練人形等について、医療機関内または地域での救急講習会等で会員の皆様にご利用いただきたく存じますので、貸し出しご希望の方は、事前に府医地域医療一課救急係（TEL 075-354-6109）までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

・救急蘇生訓練人形（成人用）〔人工呼吸・心マッサージ可〕	3体
・救急蘇生訓練人形（小児用）〔人工呼吸・心マッサージ可〕	2体
・救急蘇生訓練人形（乳児用）〔人工呼吸・心マッサージ可〕	2体
・救急蘇生訓練人形（成人用上半身）〔人工呼吸・心マッサージ可〕	5体
・気道管理トレーナー	1台
・AED（自動体外式除細動器）トレーニングユニット〔訓練用〕	2台

～ 1月度請求書（12月診療分）提出期限 ～

- ▷基金 10日(水) 午後5時30分まで
- ▷国保 10日(水) 午後5時まで
- ▷労災 10日(水) 午後5時まで

☆提出期限にかかわらず、お早めにご提出ください。
☆保険日より9月15日号に半年分の基金・国保の提出期限を掲載していますので併せてご参照ください。

保険たより

— 必 読 —

生活保護の医療扶助における オンライン資格確認について

医療扶助のオンライン資格確認が令和6年3月から運用開始される予定であることから、その概要の他、導入費用に係る助成金についての詳細な内容等が、「医療機関等向け総合ポータルサイト」に掲載されましたのでお知らせします。

【医療扶助のオンライン資格確認について】※導入は義務ではありません。

生活保護を受給されている方の医療券・調剤券の資格確認がマイナンバーカードで可能となります。

※運用開始は令和6年3月予定（ただし、市町村によって開始時期が遅くなる場合があります。）

【助成金について】※令和5年11月16日時点での情報

助成金をもらうための導入期限：令和5年12月31日

助成金の申請期限：令和5年11月～令和6年1月15日まで

※今年度内の導入が間に合わない医療機関等に対して財政支援を行うべく、日医が令和6年度予算を概算要求中

助成金交付額：

	病院	診療所又は大型チェーン 薬局以外の薬局	大型チェーン薬局
補助内容	28.3万円を上限に補助 (事業額の56.6万円を上限に その1/2を補助)	5.4万円を上限に補助 (事業額の7.3万円を上限に その3/4を補助)	3.6万円を上限に補助 (事業額の7.3万円を上限に その1/2を補助)

【「医療機関等向け総合ポータルサイト」URL】

https://iryohokenjyoho.service-now.com/csm?id=oqs_csm_top

※最新の情報や詳細は上記URLからご確認ください。



1月度請求書(12月診療分)
提出期限

▷基金 10日(水)
午後5時30分まで

▷国保 10日(水)
午後5時まで

▷労災 10日(水)
午後5時まで

☆提出期限にかかわらず、
お早めにご提出ください。

☆保険たより9月15日号に半年
分の基金・国保の提出期限を
掲載していますので併せてご参
照ください。

レセプトをオンライン請求していない 医療機関における医療情報・システム 基盤整備体制充実加算の特例について (注意喚起)

医療情報・システム基盤整備体制充実加算については、レセプトをオンライン請求していることが要件となっていますが、令和5年12月31日までに療養の給付及び公費負担医療に関する費用の請求に関する省令第1条に規定する電子情報処理組織の使用による請求を開始する旨の届出を行う医療機関については、本年4月1日～12月31日までの間、特例措置の届け出を行うことで算定可能とされていたところです。

当該特例に係る届出を行ったことにより医療情報・システム基盤整備体制充実加算を算定した医療機関は、期限である令和5年12月31日までにオンライン請求を開始（電子情報処理組織の使用による費用の請求に関する届出を審査支払機関に提出）しなかった場合には、当該特例に係る届出当初から施設基準を満たさなかったこととなり、算定開始日に遡って医療情報・システム基盤整備体制充実加算に係る診療報酬の算定額の返還が必要になりますので、遅滞なくオンライン請求の開始手続きを行ってください。

新型コロナウイルス検査等に係る Q&Aについて

◇厚生労働省疑義解釈資料（令和4年度診療報酬改定その61 / 11月10日付）

【SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）抗原検出（定性）】

問1 令和2年5月13日付けで保険適用されたSARS-CoV-2（新型コロナウイルス）抗原検出（定性）を実施する際に用いるものとして、「SARS-CoV-2抗原の検出（COVID-19の診断又は診断の補助）を目的として薬事承認又は認証を得ているもの」とあるが、令和5年11月10日付けで薬事承認された「イムノエース SARS-CoV-2 Saliva II」（株式会社タウンズ）及び「キャピリア SARS-CoV-2 Saliva II」（株式会社タウンズ）はいつから保険適用となるのか。

(答) 令和5年11月10日より保険適用となる。

検査料の点数の取り扱いについて

11月1日から

新たな臨床検査が保険適用され、それにともない、今般、厚生労働省保険局医療課長から下記のとおり取り扱う通知が示され、11月1日から適用となりましたので、お知らせします。

記

■新たに保険適用が認められた検査

点 数	D004-2 悪性腫瘍組織検査 ロ 処理が複雑なもの 5,000点
関連する留意 事項の改正	<p>※「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」(令和4年3月4日付け保医発0304第1号)の別添1(医科診療報酬点数表に関する事項)の第2章(特掲診療料)を次のように改める。(変更箇所下線部)</p> <p>第3部 検査 第1節 検体検査料 第1款 検体検査実施料</p> <p>D000～D004 (略)</p> <p>D004-2 悪性腫瘍組織検査 (1)～(3) (略)</p> <p>(4) 「1」の「ロ」処理が複雑なものとは、次に掲げる遺伝子検査のことをいい、使用目的又は効果として、医薬品の適応を判定するための補助等に用いるものとして薬事承認又は認証を得ている体外診断用医薬品又は医療機器を用いて、次世代シーケンシング等により行う場合に算定できる。</p> <p>ア 肺癌における BRAF 遺伝子検査(次世代シーケンシング)、METex14 遺伝子検査(次世代シーケンシング)、RET 融合遺伝子検査</p> <p>イ 悪性黒色腫における BRAF 遺伝子検査(リアルタイム PCR 法、PCR-rSSO 法)</p> <p>ウ 固形癌における NTRK 融合遺伝子検査、腫瘍遺伝子変異量検査</p> <p>エ 胆道癌における FGFR2 融合遺伝子検査</p> <p>オ 甲状腺癌における RET 融合遺伝子検査</p> <p>カ 甲状腺髄様癌における RET 遺伝子変異検査</p> <p><u>キ 固形腫瘍(肺癌及び大腸癌を除く。)における BRAF 遺伝子検査(PCR-rSSO 法)</u></p> <p><u>ク 悪性リンパ腫における BRAF 遺伝子検査(PCR-rSSO 法)</u></p> <p>(5)～(17) (略)</p>

GLP-1 受容体作動薬の在庫逼迫にともなう 再度の協力依頼について

2型糖尿病に適応を有している GLP-1 受容体作動薬については、需要の増加にともない一部の製剤において限定出荷が生じていることから、限られた医療資源を必要な患者に適切に供給するため、安定的に供給されるまでの間ご協力いただくよう、厚労省から呼び掛けが行われているところです（9月1日号本紙にて既報）。

一部の医療機関においてなお、いまだに2型糖尿病患者以外（主に美容・痩身目的）の治療に使用されている実態が把握されていることから、改めて厚労省から協力依頼がありましたので、お知らせします。

また、保険診療における医薬品の取り扱いについては、厚労大臣が承認した効能または効果、用法および用量によることとされているところであり、その観点でも2型糖尿病を適応とする GLP-1 受容体作動薬を2型糖尿病の治療以外の目的で使用していることが明らかな場合は、適応外使用として、査定の対象となる旨の事務連絡も併せて発出されましたので、申し添えます。

記

1. 医療機関及び薬局は、GLP-1 受容体作動薬について、返品が生じないように、買い込みは厳に控えていただき、当面の必要量に見合う量のみご購入をお願いしたいこと。
2. 医療機関及び薬局は、GLP-1 受容体作動薬について、これを真に必要とする2型糖尿病患者への供給が滞ることのないよう、適正使用に努めていただきたいこと。
3. 医薬品卸売販売業者は、上記の趣旨を理解いただいた上で、医療機関及び薬局から注文を受けた際には、薬事承認を得た範囲での治療を目的としたものであるかどうかを確認し、薬事承認範囲外の治療目的による使用であることが明らかな場合には納入をしないなど、糖尿病治療を行っている医療機関及び薬局への GLP-1 受容体作動薬の供給をお願いしたいこと。

地域医療部通信

令和6年度以降の新型コロナワクチンの接種について

厚生労働省の審議会できりまとめられた令和6年度以降の新型コロナワクチンの接種の方向性についておしらせします。

- 予防接種法に基づく特例臨時接種を令和5年度末で終了する。
 - ・新型コロナウイルス感染症の病原性が大きく異なる変異株の出現等の科学的な前提が異なるような特段の事情が生じた場合は、改めて予防接種法上の位置づけについて検討し、引き続き、ウイルスの流行状況等に関する情報収集及び評価を行う。

- 令和6年度以降は、個人の重症化予防により重症者を減らすことを目的とし、新型コロナウイルス感染症を予防接種法のB類疾病に位置づけた上で、定期接種として実施する。
 - ・新型コロナウイルス感染症による死亡の疾病負荷の大部分が65歳以上の高齢者となっていることや、入院患者において、「高齢」に比べ「基礎疾患」の死亡との関連性が比較的弱いことを踏まえ、対象者については、65歳以上の高齢者とともに、比較的疾病負荷の高い60歳から64歳までについても、一定の基礎疾患を有する者の重症化リスクも考慮し、予防接種法上、重症化予防を目的とした接種を行う季節性インフルエンザワクチン等における接種の対象者と同様とする。
 - ・令和6年度以降は、新型コロナワクチンは他のワクチンと同様に一般流通が行われる見込みであり、定期接種の対象者以外であっても、任意接種として接種の機会を得ることは可能である。

- オミクロン株がデルタ株と比較して重症度が低下していることや、国民の多くが新型コロナウイルスに対する免疫を保有していること、ワクチンの重症化予防効果が1年以上、一定程度持続すること、ワクチンの費用対効果に加えて、新型コロナウイルス感染症が年末年始に比較的大きな感染拡大が見られること及びワクチンを取り巻く状況の変化等も考慮し、定期接種のスケジュールについては、年1回の接種を行うこととし、接種のタイミングは秋冬とすることとする。

- ワクチンに含むウイルス株の検討に当たっては、流行の主流であるウイルスの状況やワクチンの有効性に関する科学的知見を踏まえて選択し、当面の間、毎年見直す。
 - ・新型コロナワクチンの接種に用いるワクチンについては、様々なモダリティのワクチンの開発状況等も考慮しつつ、有効性、安全性、費用対効果等を踏まえて検討する。

詳細は、日医もしくは厚労省の下記URLをご参照ください。

<令和6年度以降の新型コロナワクチンの接種について>

https://www.med.or.jp/dl-med/kansen/novel_corona/2023ken2_1484.pdf

<参考>第53回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36489.html

日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会 開催のご案内

府医では日医の健康スポーツ医認定資格をお持ちの先生方を対象として再研修会を開催しております。

今年度は府内で開催される駅伝やマラソン大会、各種陸上競技大会の救護所に出務いただく医師や今後、スポーツ大会での救護所に出務予定のスポーツ医を対象に心肺蘇生やAEDの使い方や外傷の手当、救急車や搬送方法について習得し、各種大会等にご出務いただくための実技講習会を開催し、講師には救急蘇生専門の医師を迎えます。

実技講習会として初めての試みとなる今回は、「駅伝大会等における救護所出務に関するスポーツ医としての対応について」(仮題)をテーマとし、救護所での対応について実技を交えての実践研修を行い、スポーツ医のさらなるレベルアップに繋がります。

参加ご希望の方は、府医ホームページ「産業医・スポーツ医関連→京都府医師会主催再研修会」(下記参照)またはQRコードをご利用いただきお申し込みください。

と き	令和6年2月3日(土)	午後2時~午後4時15分
と ころ	京都府医師会館 5階	京都府医療トレーニングセンター
テ ー マ	「駅伝大会等における救護所出務に関するスポーツ医としての対応について」	
対 象	日医健康スポーツ医および関係団体の認定スポーツ医、医師	
定 員	30名	
受 講 料	無料	
講 義	「演題：未定」	もりした循環器科クリニック院長 森下 浩氏
実 技	「『スポーツ中の突然死ゼロ』を目指すための救急蘇生法」	京都市立病院 救急科・総合内科副部長 檜垣 聡氏 ※蘇生人形を使用した実技研修となっています。
単 位	日医健康スポーツ医学再研修会認定単位 [2単位] 日医生涯教育講座カリキュラムコード [各1単位] 講義：10. チーム医療 (1単位)、実技：44. 心肺停止 (1単位)	

(4) 2023年(令和5年)12月15日 No.2259

申し込み先 府医ホームページ ⇒「産業医・スポーツ医関連」⇒スポーツ医関連
⇒<京都府医師会主催>研修会一覧, もしくは下記 URL, 二次元バーコードからお
申し込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/ab04e2c1219371>



締 切 令和6年1月22日(月)

お問い合わせ 京都府医師会地域医療3課 鈴木
TEL: 075-354-6134 / FAX: 075-354-6097

そ の 他 駐車場の割引処理はできかねますので, 公共交通機関を利用の上ご来場ください。
AED, 心肺蘇生法の実技実習がございますので, スカート・パンプスは避けていた
だき, 動きやすい服装(パンツスタイル等)でお越しください。

令和6年度 産業医学基本講座受講案内

本講座の全授業科目の履修認定を受けられた方には、産業医学基本講座修了認定書（産業医科大学産業医学ディプロマ）を授与されます。

開催要領

	■ 本学開催	■ 東京開催
日 程	令和6年4月10日(水)～5月21日(火) 月曜～金曜 8:50～17:50	令和6年6月1日(土)～10月10日(木) 火曜・木曜 18:30～21:40 土曜 9:00～17:50
場 所	産業医科大学	産業医科大学 東京事務所 または JR 神田駅近辺
定 員	100名程度	35名程度
受 講 料	230,000円	550,000円
願 書 提出期間	令和5年12月1日(金) ～令和6年1月31日(水)	令和5年12月1日(金) ～令和6年3月29日(金)
受講資格	医師、歯科技師、修士以上の学位を持ち産業医科大学が認める者	
資料請求 先等詳細	産業医科大学ホームページ内「産業医学基本講座」 http://www.uoeh-u.ac.jp/medical/training/course.html	



【産業医科大学 産業医学基本講座 お問い合わせ先】

本学開催

大学管理課 研究係

TEL：093-691-7400

E-mail：iissyom@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp

東京開催

首都圏事業推進室

TEL：093-691-7251

E-mail：shuto@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp

2024年 1月 京都市(乙訓2市1町)病院群輪番編成表

太字の病院は小児科の当番病院です。

日	曜	Aブロック		Bブロック		Cブロック		Dブロック	
①	月	大原記念	バプテスト	済生会	洛西ニュータウン	京都九条	十 条	洛和会音羽	京都久野
2	火	洛 陽	洛 陽	京 都 桂	民医連中央	洛和会丸太町	京 都 九 条	医仁会武田	大 島
3	水	室 町	室 町	シ ミ ズ	三菱京都	京都市立	京 都 南	伏見桃山	な ぎ 辻
4	木	富 田	富 田	西 京 都	西 京 都	原 田	原 田	医 仁 会 武 田	
5	金	バプテスト		千 春 会	千 春 会	明 石	明 石	愛 生 会 山 科	
6	土	室 町	室 町	京 都 桂	京 都 桂	京 都 市 立	京 都 市 立	医 仁 会 武 田	
⑦	日	富 田	バプテスト	長岡京	京 都 桂	京 都 市 立	洛和会丸太町	な ぎ 辻	むかいじま
⑧	月	西 陣	バプテスト	洛西ニュータウン	シ ミ ズ	相 馬	京 都 九 条	医仁会武田	京都久野
9	火	洛 陽	洛 陽	民 医 連 中 央		堀 川	堀 川	共 和	
10	水	大原記念	大原記念	泉 谷	泉 谷	吉 祥 院	吉 祥 院	洛 和 会 音 羽	
11	木	京都からすま	京都からすま	西 京 都	西 京 都	十 条	十 条	医 仁 会 武 田	
12	金	バプテスト		洛西シミズ	洛西シミズ	原 田	原 田	蘇 生 会	
13	土	京都博愛会	京都博愛会	京 都 桂	京 都 桂	新 京 都 南	新 京 都 南	愛 生 会 山 科	
⑭	日	京都下鴨	バプテスト	洛西ニュータウン	泉 谷	京 都 市 立	京 都 回 生	洛和会音羽	大 島
15	月	愛寿会同仁	愛寿会同仁	内 田	内 田	明 石	明 石	医 仁 会 武 田	
16	火	バプテスト	バプテスト	向 日 回 生	向 日 回 生	武 田	武 田	な ぎ 辻	
17	水	賀 茂	賀 茂	新 河 端	新 河 端	武 田	武 田	洛 和 会 音 羽	
18	木	バプテスト		三 菱 京 都	三 菱 京 都	京 都 武 田	京 都 武 田	愛 生 会 山 科	
19	金	民医連あすかい	民医連あすかい	民 医 連 中 央	民 医 連 中 央	明 石	明 石	医 仁 会 武 田	
20	土	京都下鴨	京都下鴨	向 日 回 生	向 日 回 生	洛和会丸太町	洛和会丸太町	京 都 医 療	
⑰	日	民医連あすかい	民医連あすかい	河 端	京 都 桂	京 都 市 立	京 都 回 生	むかいじま	金 井
22	月	バプテスト		泉 谷	泉 谷	原 田	原 田	医 仁 会 武 田	
23	火	西 陣	西 陣	民 医 連 中 央		相 馬	相 馬	共 和	
24	水	富 田	富 田	太 秦	太 秦	十 条	十 条	洛 和 会 音 羽	
25	木	室 町	室 町	新 河 端	新 河 端	吉 川	吉 川	医 仁 会 武 田	
26	金	バプテスト		シ ミ ズ	シ ミ ズ	武 田	武 田	伏 見 桃 山	
27	土	洛 陽	洛 陽	京 都 桂	京 都 桂	新 京 都 南	新 京 都 南	洛 和 会 音 羽	
⑱	日	賀 茂	賀 茂	長岡京	京 都 桂	京 都 市 立	新 京 都 南	金 井	伏見桃山
29	月	大原記念	大原記念	洛西シミズ	洛西シミズ	堀 川	堀 川	医 仁 会 武 田	
30	火	京都からすま	京都からすま	民 医 連 中 央		京 都 武 田	京 都 武 田	蘇 生 会	
31	水	京都博愛会	京都博愛会	千 春 会	千 春 会	吉 祥 院	吉 祥 院	洛 和 会 音 羽	

病院群輪番協力医療機関一覧(五十音順)

A ブ ロ ッ ク		B ブ ロ ッ ク		C ブ ロ ッ ク		D ブ ロ ッ ク	
病 院 名	電話番号	病 院 名	電話番号	病 院 名	電話番号	病 院 名	電話番号
愛寿会同仁病院	431-3300	泉 谷 病 院	466-0111	明 石 病 院	313-1453	愛生会山科病院	594-2323
賀 茂 病 院	493-3330	太 秦 病 院	871-7711	吉 祥 院 病 院	672-1331	医仁会武田総合病院	572-6331
京都大原記念病院	744-3121	内 田 病 院	882-6666	京都回生病院	311-5121	大 島 病 院	622-0701
京都からすま病院	491-8559	河 端 病 院	861-1131	京都九条病院	691-7121	金 井 病 院	631-1215
京都下鴨病院	781-1158	京 都 桂 病 院	391-5811	京都市立病院	311-5311	京都医療センター	641-9161
京都博愛会病院	781-1131	京都民医連中央病院	861-2220	京都武田病院	312-7001	京都久野病院	541-3136
京都民医連あすかい病院	701-6111	京都済生会病院	955-0111	京 都 南 病 院	312-7361	共 和 病 院	573-2122
富 田 病 院	491-3241	シ ミ ズ 病 院	381-5161	十条武田リハビリ病院	671-2351	蘇生会総合病院	621-3101
西 陣 病 院	461-8800	新 河 端 病 院	954-3136	新京都南病院	322-3344	な ぎ 辻 病 院	050-3091-1131
日本パペスト病院	781-5191	千 春 会 病 院	954-2175	相 馬 病 院	463-4301	伏見桃山総合病院	621-1111
室 町 病 院	441-5859	長 岡 京 病 院	955-1151	武 田 病 院	361-1351	むかいじま病院	612-3101
洛 陽 病 院	781-7151	西 京 都 病 院	381-5166	原 田 病 院	551-5668	洛和会音羽病院	593-4111
		三 菱 京 都 病 院	381-2111	堀 川 病 院	441-8181		
		向 日 回 生 病 院	934-6881	吉 川 病 院	761-0316		
		洛西シミズ病院	331-8778	洛和会丸太町病院	801-0351		
		洛西ニュータウン病院	332-0123				

〔留意事項〕

- ①病院群の輪番制度は、あくまでも補完的な施策であることから、最終的なよりどころとしてご利用ください。最寄りあるいは知り合いの病院で処理し得る時は、できるだけ処理していただくこと。困ったときのみ利用してください。
- ②当番病院を利用される場合は、必ず事前に当番病院に電話連絡をし、原則として当番病院の医師の了解を得た上で後送してください。さらにできれば、患者に診療情報提供書を持たせてください。
- ③ **太字** の病院は小児科専用の当番病院で、全域を対象とします。この他は一般(内科, 外科)の後送病院です。
- ④休日・日曜日の当番日に、1ブロックに2つの病院名もしくは同一病院名が左右に分けて書かれておりますが、左側が昼間(8:00～18:00)で右側は夜間(18:00～翌朝8:00)の当番病院です。
- ⑤当番病院の診療応需時間(原則として)
- ・休 日 ア. 午前8時～午後6時
イ. 午後6時～翌朝午前8時
 - ・休日以外 午後6時～翌朝午前8時
- なお休日とは、日曜日・祝日・振替休日および年末年始(12月29日～1月3日)をいいます。

太字 の病院は小児科のみの当番病院です(対象=全域)。ご注意ください。

京 都 府 医 師 会 長・松 井 道 宣
京 都 府 病 院 協 会 長・若 園 吉 裕
京 都 私 立 病 院 協 会 長・清 水 鴻 一 郎

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター 通信

令和5年度
第1回「京都在宅医療塾 探究編」
オンデマンド配信のご案内

令和5年9月23日(土・祝)に、東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター長 日本在宅医療連合学会 副代表理事 日本エンドオブライフケア学会 副理事長 平原佐斗司氏を講師に迎え、第1回京都在宅医療塾 探究編を開催しました。「在宅での栄養マネジメント～疾患別、ステージ別に考える～」というテーマで、基礎講義、グループワーク、追加講義という内容でした。当日ご参加いただいた方々からは、「高齢者の低栄養に対する栄養評価の方法を学ぶことができた」という趣旨のお声を多数いただき、大変好評でした。

そこで平原先生のご厚意を得て、本研修会の講義部分をオンデマンド配信することとなりました。YouTube を使用して、申し込み者限定で公開いたします。

是非、お申し込みの上、ご視聴ください。

第1回「京都在宅医療塾 探究編」オンデマンド配信

と き	12月15日(金)～3月15日(金) まで視聴可能
と ころ	YouTube を使用したオンデマンド配信
テ ー マ	「在宅での栄養マネジメント～疾患別、ステージ別に考える～」 基礎講義：在宅における栄養評価と栄養処方 追加講義：疾患別・病態別栄養管理
講 師	東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター長 日本在宅医療連合学会 副代表理事 日本エンドオブライフケア学会 副理事長 平原佐斗司 氏
対 象	医師・多職種
参 加 費	無料
申し込み	右記画像よりお申し込みください。 入力いただいたメールアドレスに動画 URL が届きます。
締 切	3月15日(金) 正午までにお申し込みください。



※本配信による日医生涯教育講座カリキュラムコードの単位付与はありません。

問い合わせ 京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
(TEL: 075-354-6079 / FAX: 075-354-6097 / Mail: zaitaku@kyoto.med.or.jp)

認知症対策通信

令和5年度 認知症対応力向上多職種協働研修会
(右京) 開催のご案内

この研修会は、参加する多職種が、協働の意義について共通の認識を持ち、フラットなコミュニケーションを通して、情報を共有できる内容とし、認知症ケアに携わる多様な職種の視点や役割を相互に理解し、認知症の人が必要とする支援を役割分担しながら、協働して提供できる地域連携体制を構築することを目的に開催します。

講演では、はまなかクリニック 濱中正嗣氏に「認知症の理解」をテーマにご講演をいただき、続いて右京区の認知症の取組報告、事例検討会を開催します。いずれも認知症を持つ人を患者に持つ先生や多職種にとって有益な内容ですので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

令和5年度 認知症対応力向上多職種協働研修会 (右京)

と き 令和6年1月13日(土) 午後2時～午後4時

と ころ 京都府医師会館 310 会議室

内 容 1. 基調講演

「認知症の理解」

はまなかクリニック

濱中 正嗣氏

「右京区の認知症の取組報告」

- ・京都市梅津地域包括支援センターの取組について

京都市梅津地域包括支援センター

高橋 岳大氏

- ・高齢者福祉施設 西院の Sitte プロジェクトについて

高齢者福祉施設 西院

所長

谷 和行氏

田端 重樹氏

2. 事例検討会

「近隣住民の通報で医療・介護サービスにつながったケース

～認知症の方への理解、地域のつながり、そして家族支援～」

事例提供：京都市右京区認知症初期集中支援チーム

森村 実紀氏

はまなかクリニック

濱中 正嗣氏

京都市右京区嵐山地域包括支援センター

広瀬智恵子氏

対 象 かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者及び認知症サポート医、歯科医師認知症対応力向上研修修了者、薬剤師認知症対応力向上研修修了者、市町村等の認知症施策担当職員及び認知症地域支援推進員、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等の多職種、その他開催地区医師会が認める者

定 員 会場：150名

参加費 無料

申し込み ホームページ申込フォームまたはFAXよりお申し込みを受け付けております。

共 催 京都府医師会, 右京医師会, 京都市右京在宅医療・介護連携支援センター

問い合わせ ・京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
TEL: 075-354-6079 / FAX: 075-354-6097
メール zaitaku@kyoto.med.or.jp
・京都市右京区在宅医療・介護連携支援センター
担当: 中村弘美 (TEL 075-872-2511 / FAX 075-872-2900)

そ の 他 受講修了者には京都府発行の修了証書を発行いたします。

◆日医生涯教育カリキュラムコード 13. 医療と介護および福祉の連携: 1単位
29. 認知能の障害: 1単位

●ホームページ申込フォーム

右記のQRコードをお持ちのスマートフォンで読み取ると、申込フォームが表示されます。または、検索エンジンにて「京都 在宅医療」で検索し、当センターホームページからお申し込みできます。

<https://ssl.formman.com/form/pc/BaboqypSJQDbsqJR/>



● FAX

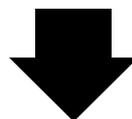
下記, 受講申込書を FAX でも受け付けております。
 ご都合の良い方法でお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

認知症対応力向上多職種協働研修会 (2024. 1. 12) 右京医師会担当
 受講申込書 (FAX)

職 種	
所 属 地 区	
ふ り が な	
氏 名	
所 属 機 関 名	
メ ー ル ア ド レ ス	
電 話 番 号	
F A X 番 号	
受 講 票 ・ 修 了 証 書 送 付 先	※送付希望先を選択ください 医療機関 ・ 自 宅
	〒 ー TEL :

※公共交通機関でのご来場にご協力ください

京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
FAX (075) 354 - 6097



認知症対策通信

令和5年度 認知症対応力向上多職種協働研修会 (綴喜) 開催のご案内

この研修会は、参加する多職種が、協働の意義について共通の認識を持ち、フラットなコミュニケーションを通して、情報を共有できる内容とし、認知症ケアに携わる多様な職種の視点や役割を相互に理解し、認知症の人が必要とする支援を役割分担しながら、協働して提供できる地域連携体制を構築することを目的に開催します。

第1部では、特定行政書士・社会福祉士 特定非営利活動法人山城権利擁護ネットワーク理事 藤村明生氏に「成年後見人が関わる在宅支援 ～地域の中で生きていく～」をテーマにご講演をいただき、その後は小川医院 小川 智氏に話題を提供していただきグループワークを開催いたします。いずれも認知症を持つ人を患者に持つ先生や多職種にとって有益な内容ですので、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

令和5年度 認知症対応力向上多職種協働研修会 (綴喜医師会)

- と き** 令和6年2月3日(土) 午後3時～午後5時
※研修会終了後、午後5時～午後6時まで意見交換会を開催します。
- と ころ** けいはんなプラザ3階大会議室ナイル
- 内 容** 第1部「成年後見人が関わる在宅支援 ～地域の中で生きていく～」
講師：特定行政書士・社会福祉士
特定非営利活動法人山城権利擁護ネットワーク理事 藤村 明生氏
第2部「認知症利用者に対する意思決定支援を考える」(グループワーク)
話題提供：小川医院 小川 智氏
- 対 象** かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者及び認知症サポート医、歯科医師認知症対応力向上研修修了者、薬剤師認知症対応力向上研修修了者、市町村等の認知症施策担当職員及び認知症地域支援推進員、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等の多職種、その他開催地区医師会が認める者
- 定 員** 会場：60名
- 参 加 費** 無料
- 申し込み** ホームページ申込フォームまたはFAXよりお申し込みを受け付けております。
- 共 催** 京都府医師会、綴喜医師会
- 問い合わせ** 京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
TEL：075-354-6079 / FAX：075-354-6097
メール zaitaku@kyoto.med.or.jp
- そ の 他** 受講修了者には京都府発行の修了証書を発行いたします。

- ◆日医生涯教育カリキュラムコード 13. 医療と介護および福祉の連携：1単位
29. 認知能の障害：1単位

●ホームページ申込フォーム

右記のQRコードをお持ちのスマートフォンで読み取ると、申込フォームが表示されます。または、検索エンジンにて「京都 在宅医療」で検索し、当センターホームページからお申し込みできます。

<https://ssl.formman.com/form/pc/BaboqypSJQDbsqJR/>



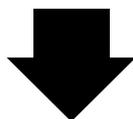
● FAX

下記、受講申込書をFAXでも受け付けております。
ご都合の良い方法でお申込みくださいますようお願い申し上げます。

認知症対応力向上多職種協働研修会 (2024. 2. 3) 綴喜医師会
受講申込書 (FAX)

職 種	
所 属 地 区	
ふ り が な	
氏 名	
所 属 機 関 名	
メ ー ル ア ド レ ス	
電 話 番 号	
F A X 番 号	
受 講 票 ・ 修 了 証 書 送 付 先	※送付希望先を選択ください 医療機関 ・ 自 宅
	〒 ー TEL :

※公共交通機関でのご来場にご協力ください
京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
FAX (075) 354 - 6097



介護保険ニュース

「デフレ完全脱却のための総合経済対策」 および令和5年度補正予算案の決定について

11月2日に変革を力強く進める「供給力の強化」と、不安定な足下を固め、物価高を乗り越える「国民への還元」の2つを「車の両輪」として、日本経済の新たなステージへの移行を図るため、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」が閣議決定されたところです。

当該経済対策および11月10日に閣議決定した補正予算案において、介護分野については、

- ・物価高への対応として重点支援地方交付金の追加（内閣府）及び医療・介護等分野への重点的な活用の推奨
- ・介護職員処遇改善支援事業等
- ・介護サービス事業者の生産性向上や協働化等を通じた職場環境改善事業

等の支援策が盛り込まれた旨、厚生労働省老健局より、周知依頼がありましたので、主なものを抜粋してお知らせします。

なお、各事業の交付要綱等については、補正予算の成立後にあらためて周知される予定です。

【〇医療・介護・障害福祉分野の職員に対する処遇改善に向けた支援】

施策名：介護職員処遇改善支援事業等

令和5年度補正予算案 364億円

老健局老人保健課
(内線3948、3949)

① 施策の目的

- ・春闘における賃上げに対し、介護業界の賃上げが低水準であることを踏まえ、必要な介護人材を確保するため、令和6年の民間部門における春闘に向けた賃上げの議論に先んじて、介護職員の更なる処遇改善を行う。

② 対策の柱との関係

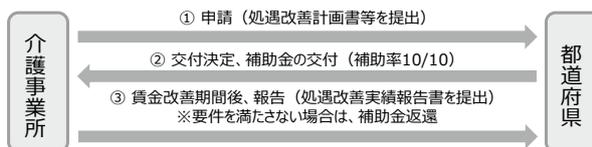
I	II	III	IV	V
	○		○	

③ 施策の概要

- ・介護職員を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、介護職員等ベースアップ等支援加算に上乗せする形で、収入を2%程度（月額平均6,000円相当）引き上げるための措置を行う。

④ 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)等

- 対象期間 令和6年2月～5月の賃金引上げ分(以降も、別途賃上げ効果が継続される取組を行う)
- 補助金額 対象介護事業所の介護職員(常勤換算)1人当たり月額平均6,000円の賃金引上げに相当する額。対象サービスごとに介護職員数(常勤換算)に応じて必要な交付率を設定し、各事業所の総報酬にその交付率を乗じた額を支給。
- 対象職種 介護職員(事業所の判断により、他の職員の処遇改善にこの処遇改善の収入を充てることができるよう柔軟な運用を認める。)



※上記のほか、補助金の申請・支払い等の事務に対応するため、国・都道府県の事務費等を確保

⑤ 施策の対象・成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

- ・介護人材の他産業への流出を防ぎ、必要な介護人材の確保に繋がる。
- ・全国の介護職員の賃金が改善されることで、日本全体の成長と分配の好循環、持続的賃上げに貢献する。

【○医療・介護・障害福祉分野における人材の養成・確保、定着を図る取組支援】
施策名:介護職員処遇改善加算等の取得促進支援事業

令和5年度補正予算案 1.1億円

老健局老人保健課
(内線2177、3959)

① 施策の目的

・介護職員の処遇改善に係る加算について、取得率の向上(より上位区分の算定含む)が課題となっている中、令和5年度補正予算による新たな処遇改善の実施や、令和6年度報酬改定による3加算の見直しが見込まれることから、介護事業所がこれらに円滑に対応できるよう手厚い支援を実施する。

② 対策の柱との関係

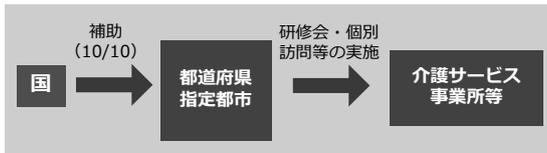
I	II	III	IV	V
	○		○	

③ 施策の概要

・加算の新規取得やより上位区分の加算取得、令和5年度補正予算による新たな処遇改善の実施、令和6年度報酬改定による3加算の見直しへの対応に向けて、自治体が行う介護事業所等への研修会や専門的な相談員(社会保険労務士など)の派遣を通じた助言・指導等の支援を行う。

④ 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)等

事業スキーム



※上記のほか、補助金の申請等の事務に対応するため、国の事務費を確保

介護職員処遇改善加算等の取得促進事業の実績
(個別訪問等の実施状況・自治体実施分)

	訪問事業所数	うち加算取得事業所数(※)
令和元年度	1,107事業所	594事業所 (" 54%)
令和2年度	984事業所	590事業所 (" 60%)
令和3年度	1,303事業所	703事業所 (" 54%)

(※) 処遇改善加算未取得事業所による新規取得のほか、上位区分の取得や、特定処遇改善加算の新規取得(見込み)等を含む。

⑤ 施策の対象・成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

・これまで、賃金改善の仕組みの定め方が分からない、申請事務が煩雑、といった理由で、介護職員の処遇改善に係る加算を取得していなかった介護事業所が、研修会や相談員による助言・指導等の支援を受け、当該加算を取得することで、介護職員の賃金が改善され、必要な介護人材の確保に繋がるとともに、日本全体の成長と分配の好循環、持続的賃上げに貢献する。

京都府医師会会員の皆様へ ～ぜひ お問い合わせください～

<中途加入も可能です>

医師賠償責任保険制度(100万円保険)

【医師賠償責任保険・医療施設賠償責任保険】

本保険制度は、日本医師会医師賠償責任保険および特約保険の免責金額である100万円部分の補償ならびに施設に関わる賠償責任をカバーする医療施設賠償責任保険が付帯されたもので、日本医師会医師賠償責任保険制度を補完することを目的として発足いたしました。

加入タイプⅠ（医師賠償責任保険、医療施設賠償責任保険）

【加入者】	京都府医師会会員
【被保険者* （医師賠償責任保険）】	京都府医師会会員である診療所の開設者個人、京都府医師会会員を理事長もしくは管理者として診療所を開設する法人
【被保険者* （医療施設賠償責任保険）】	①京都府医師会会員、及びその者が理事長もしくは管理者として診療所を開設する法人（記名被保険者） ②①の使用人、その他の業務の補助者

加入タイプⅡ（医師賠償責任保険）

【加入者（被保険者*）】	京都府医師会会員である勤務医師 法人病院や法人診療所の管理者である医師個人
--------------	--

*対象事故が起こった場合に補償の対象となる方

年間
保険
料

加入タイプⅠ…6,980円・加入タイプⅡ…4,010円ですが、
中途加入の場合は保険料が変わりますので代理店にご連絡ください。

※各タイプの補償内容はパンフレットをご覧ください。

※ご加入者数により、保険料の引き上げ等の変更をさせていただくことがありますので、予めご了承ください。

医師賠償責任保険に個人を被保険者としてご加入の場合、刑事弁護士費用担保特約が付帯されます。

このご案内は、医師賠償責任保険、医療施設賠償責任保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら代理店または保険会社におたずねください。

【契約者】 一般社団法人 京都府医師会

【取扱代理店】 東京海上日動代理店 有限会社 ケーエムエー

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6 京都府医師会館内

TEL 075-354-6117 FAX 075-354-6497

【引受保険会社】 東京海上日動火災保険株式会社 担当課：京都支店営業課

〒600-8570 京都市下京区四条富小路角

2023年3月1日作成 22TC-102006

京都医報 No.2259

発行日 令和5年12月15日

発行所 京都医報社

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6

TEL 075-354-6101

E-mail kma26@kyoto.med.or.jp

ホームページ <https://www.kyoto.med.or.jp>

発行人 松井 道宣

編集人 田村 耕一

印刷所 株式会社ティ・プラス



発行所 京都医報社

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東栞尾町6 TEL 075-354-6101

発行人 松井道宣 編集人 田村耕一